

2022年度の事業計画について

1 概要

2022年度は、2021年度の事業計画の達成状況と点検・評価の結果及び図書館を取り巻く社会情勢の変化等を踏まえ、10の行動目標に向けた事業計画を別表のとおりとする。

また、運営指標（数値目標）については、感染症の動向も予断を許さないことから、2021年度に定めた目標値を踏襲するが、2021年度実績で目標値を超えたものについては上方修正する。

2 事業計画の中で重点的に取り組む事項

① 県政150周年記念事業の実施

2022年11月に県政150周年を迎えることから、当館に古くから所蔵している地域資料や郷土の新聞、地図などを活用し、県政150周年記念事業を実施する。

② Yottekko（ヨッテコ）の活用

コロナ禍以降、感染症対策のため利活用を制限しているYottekkoについて、感染症の状況とその対策に留意しながら、県政の政策・重点プロジェクトのPR、講演会、県立の大学や周辺地域等との連携事業の拠点として活用を図る。

県の重要プロジェクトである「ジブリパークの推進」や「ロボット産業」始め、本県の特徴である「ものづくり」に関連した分野の展示や講演会、また県内全域の自治体や民間団体と連携した事業の実施を検討する。

③ 「新しい生活様式」に対応した図書館サービスの充実

「新しい生活様式」に対応した図書館のあり方が求められていることから、電子書籍サービスの充実や利用の促進、動画配信によるサービスなどの非来館型サービスを推進する。

④ 貴重資料のデジタル化の推進

当館が所蔵する江戸時代の大判絵図など、地域の歴史を伝える貴重資料を新たにデータ化し、順次調査したうえで「貴重和本デジタルライブラリー」等のホームページで公開する。

⑤ 図書館関係者への研修の強化

県の拠点図書館として、県内図書館関係者への研修について、愛知図書館協会等のネットワークを活用し、県内図書館の状況の把握と研修に対する要望を踏まえ、時宜に適した内容の研修を、感染症拡大防止策を講じながら適切かつ効果的な手法により実施する。

3 運営指標（数値目標）の見直し

① 「I 入館者数」、「IV 協力貸出の冊数」、「VI 職員の講師派遣・協会等での発表回数」については、2021年度の目標を達成したので、次のように上方修正する。

I 入館者数：44万人以上（元の数値目標*の80%）

IV 協力貸出の冊数のうち市町村立図書館向け：12,600冊以上（元の数値目標の70%）
学校図書館向け：3,500冊以上（元の数値目標の175%）

VI 職員の講師派遣・協会等での発表回数：20回以上（元の数値目標の80%以上）

* 元の数値目標とは「基本的運営方針 後半5年の行動計画」で定めた運営指標（数値目標）を指す

② 残りの運営指標については、「基本的運営方針 後半5年の行動計画」で定めた運営指標（数値目標）の数値目標のままとする。

○ 2022年度の運営指標（数値目標）

取組	2022年度の運営指標 (数値目標)	(2021年度)	(参考) 「基本的運営方針 後半5年の行動計画」で定めた運営指標（数値目標）
1 すべての県民への図書サービスの提供	I 入館者数 44万人以上 ※80%補正	I 入館者数 38万5千人以上 ※70%補正	I 入館者数 55万人以上
	II 利用者の満足度 「来館の目的が達成できた」が90%以上	II 利用者の満足度 「来館の目的が達成できた」が90%以上	II 利用者の満足度 同左
	III 蔵書検索アクセス数 180万回以上	III 蔵書検索アクセス数 180万回以上	III 蔵書検索アクセス数 同左
2 市町村立図書館等への支援	IV 協力貸出の冊数 市町村立図書館向け 12,600冊以上 ※70%補正 学校図書館向け 3,500冊以上 ※175%補正 合計：16,100冊以上	IV 協力貸出の冊数 市町村立図書館向け 10,800冊以上 ※60%補正 学校図書館向け 2,000冊以上 ※元の目標値 合計：12,800冊以上	IV 協力貸出の冊数 市町村立図書館向け 18,000冊以上 学校図書館向け 2,000冊以上 合計：20,000冊以上
3 形成 ネットワークの構築	V 主要紙での評価 「プラス」評価が80%以上	V 主要紙での評価 「プラス」評価が80%以上	V 主要紙での評価 同左
4 制 の 整 備	VI 職員の講師派遣・協会等での発表回数 20回以上 ※80%以上	VI 職員の講師派遣・協会等での発表回数 17回以上 ※70%補正	VI 職員の講師派遣・協会等での発表回数 24回以上